

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すまいる・ステップ				公表日	2025年 12月3日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・もう少し広さがほしいところではありますが、工夫してスペース作りに日々頭を悩ませて支援しています。 ・ガイドラインにて一人あたり4㎡以上とされている中、2部屋合わせて81.66㎡の広さがあります。利用定員10名の場合、一人あたり8.166㎡になり2倍にあたります。活動内容に合わせて、常に工夫して利用しています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		・ガイドライン基準よりも十分な配置がされているため、きめ細かな個別対応が出来ていると感じます。 ・曜日によるクラスメンバーの見直しや偏りの是正をしています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・難しい場合はパーテーションでスペースを分けることで工夫しています。 ・療育の部屋とは別の小さな個室を、個別の部屋として使用しています。 ・個別に使えるスペースが非常に有効でした。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎年評価表アンケートを実施し、業務改善を行っています。また、個別面談の折に保護者の意向を伺っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・月々のスタッフミーティング、年間反省が翌年の活動に活かされていると思います。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・毎年、区の訪問調査を受けています。講評を受けて、業務の改善を行っています。 ・練馬区の訪問調査を年1回受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・外部の研修だけでなく、施設内でその時々 のミニ勉強会をしていただけることも学び になっています。 ・児童発達支援センター主催の研修や練馬障 害福祉人材育成センターの研修に職員全員が 積極的に参加しています。 ・PECSの外部研修に参加し、法人内研修を 実施しました。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・ホームページにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・半年ごとに保護者のアセスメントを行い、個別支援計画に反映しています。	・お子様の聞き取りには至っていません。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・職員全員が計画作成の段階から関わることで、共通理解が深まっていると感じます。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・全員が出席するケース検討会にて、計画の検討を行っています。決定後は朝のミーティングにおいて、利用児童の計画を確認して目標を発表しあい、常に計画を念頭においた支援をしています。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・必要に応じて質問紙や感覚特性の尺度を用いている。 ・トイレ指導に関しては、日々観察記録をつけ傾向を共有しています。 ・日々の保育の中での気づきを、職員間で共有することがより役立っていると思います。 ・通所開始時に、全員の感覚プロファイルを取っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ケース検討会にて支援内容の検討を行い、できるだけ具体的にどの支援者でもわかるように明記しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・固定されている活動も、内容を毎回工夫していると感じます。 ・他事業所での経験を還元してもらうことで、新たな活動内容が考えられるようになっていていると思います。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・終礼時に必ず記録を取り、活動内容や支援方法を振り返り翌日の支援改善に取り組んでいます。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・半年ごとに保護者からのアセスメントを取り、計画に反映しています。また日々のモニタリングからチームで支援方法の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・2択から選ぶ、「やらない」を受け入れる姿勢、PECSを導入しての本人発信等を大事にしていると思います。 ・PECSを導入してから、発語のない児童の自己発信による表出コミュニケーションの機会が多くなったと思います。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・同じ法人内のすまいる・キッズに通所されていた方については、情報共有を行っています。また、保護者より幼稚園や児発で作成された個別の支援計画や移行書類等のご提出を頂くようにお願いしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2	・中・高生部門の放課後等デイサービスへ情報共有をしています(進級する際)	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	・児童発達支援センター主催の研修に参加をしました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6	・難しいと思われます	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		・困りごとに対する手立てを家庭で実践してもらう提案を行っています。 ・保護者会にて「発達の多様性を知る」と題した研修を実施。また個別面談にて、家庭でできる視覚支援ツールの提供、PECSに関する情報提供を行いました。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		・保護者会にて、グループ懇談の機会を持ち交流を図りました。 ・保護者会は交流も含め、保護者の方たちの満足度が高いものになっていたと思います。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・毎日活動写真を入れたお便りを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・発語のない児童との意思疎通のために、PECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）を導入しました。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	・店舗での買い物、利用児が地域の方と出会う機会となっています。 ・ボランティアの方に来ていただき、催し物をして頂きました。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・警察の方にいらして頂いた不審者対応訓練は、実際の場面をイメージするきっかけになり有意義でした。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・BCPを策定し、各種訓練を全職員参加で実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・保護者より状況を伺い、緊急時のマニュアルを作成しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・保護者の意向も含めて、都度確認をとり対応しています。 ・保護者からの指示で対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・安全計画を作成し、毎月室内の安全チェックや防災訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・保護者会にてご説明を行い、全員の方に安全計画を配布しました。また、災害伝言ダイヤルやXによる訓練を周知しました。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・終礼時に共有後、ヒヤリハット報告書を全員が確認。再発防止に積極的に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・年2回、職員全員が参加する虐待防止及び身体拘束適正化研修を実施しています。その中でグループワークを行い、日頃の保育を振り返り支援方法や適切な対応を話し合っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・記載しています。	